

令和元年「市民と議会のわがまちトーク」意見整理表

【福祉健康委員会】

No.	解決策の案	解決策の案の要約		確認・調査事項	議会がすること	
		誰が	何を		市への提言	必要・不要
1	職員募集条件の緩和(年齢など)をする。	誰が 市民・市・議会	何を 条件緩和の条例改正	現状の採用試験の募集要件の緩和措置がどのようになっているか	市への提言 議会の行動	必要・不要
2	公共施設で人が集まるところは、磁気ループを設置する。	誰が 市民・市・議会	何を ループの設置	ループの設置施設・設置場所、人が集まるのにループが設置していないところがあるのか、要望等あるかどうか	市への提言 議会の行動	必要・不要
3	市主催の行事には、必ず要約筆記者や手話通訳者をつける。	誰が 市民・市・議会	何を 要約筆記者や手話通訳者をつける	議会以外のどのような行事に要約筆記者や手話通訳者がついているのか	市への提言 議会の行動	必要・不要
4	要約筆記を知ってもらうために、ゆるキャラを作成し、市民に知っていただく。	誰が 市民・市・議会	何を 親しみやすいゆるキャラの作成及びそれによる周知	他の市町村でゆるキャラ作成し周知しているところの実績(鯛委員長)	市への提言 議会の行動	必要・不要
5	市や府の補助の現状を知って、政策提言をしてほしい(人工内耳)	誰が 市民・市・議会	何を 補助金制定(市)、府への要望や政策提言(議会)	現状の人工内耳への補助制度の確認、人工内耳に活用できる他制度の補助があるかどうか。補聴器の支援制度の確認	市への提言 議会の行動	必要・不要
6	市独自の制度	誰が 市民・市・議会	何を 障がい者への市独自の新たな制度	国・府の法令・条例以外に他市で独自に設けている制度(事務局)	市への提言 議会の行動	必要・不要
7	支援会議の開催	誰が 市民・市・議会	何を 支援会議の開催	施設内の支援会議か、府市等支援者ネットワークの会議かを内容確認(杉島副委員長) 支援会議がどのように行われているのか等、内容の確認(杉島副委員長)。	市への提言 議会の行動	必要・不要
8	障がい者の立場で物事を見られるようにすること	誰が 市民・市・議会	何を 障がい者の立場で物事をみられるようにすること	障がい者がどういった視点での改善策を求めておられるのかを意見交換会等で聞き取り確認。	市への提言 議会の行動	必要・不要
9	補聴器、人工内耳の補助に対しては、予算の確保を考慮すること	誰が 市民・市・議会	何を 補助制度の制定	⑤と共通。滋賀県は全額市補助。視察等で確認。(滋賀県の内容を事務局で調査)	市への提言 議会の行動	必要・不要
10	要約筆記者や手話通訳者の必要性を十分に理解することが第一であるとする。	誰が 市民・市・議会	何を 議会にて要約筆記者や手話通訳者の事業を拡大	—	市への提言 議会の行動	必要・不要

11	障がい者に優しいまちづくりが求められる。	誰が	市民・市・議会	車いす、聴覚、障がい者から外出先でどういったところが特に困っているかを具体的に聞き取り（杉島副委員長）。 段差解消は、道路か建物か確認。	市への提言	必要・不要
		何を	段差解消、各公共施設利用時の利便性向上（市） 議会としてできることをピックアップ（議会）		議会の行動	段差解消については、所管の産業建設委員会へ申し送り。
12	就労場所の確保や整備	誰が	市民・市・議会・事業者	障害者が働きやすい事業所等の情報提供の確認。 障がい者が働きやすい業態、業種、賃金等の把握	市への提言	必要・不要
		何を	障がい者の勤める場所の確保		議会の行動	
13	移動支援の利用条件の見直し	誰が	市民・市・議会・事業者	移動支援の現状の確認	市への提言	必要・不要
		何を	車、タクシー、バス等を利用する上で、障がい者の移動しやすい環境づくり		議会の行動	
14	就労利用者の賃金の確保など	誰が	市民・市・議会・事業者	障がい者の就労に係る賃金の確認（就労継続支援A型・B型事業所の利用者）	市への提言	必要・不要
		何を	障がい者の就労に係る賃金の確保		議会の行動	
15	市民と障がい者、家族との意見交換の機会を増やす。	誰が	市民・市・議会・団体	意見交換ができる機会、場の確認	市への提言	必要・不要
		何を	障がい者や家族が意見をいう場を設け、増やす。		議会の行動	
16	子供の頃から障がいを持っておられる方と一緒に過ごす時間を増やす。	誰が	市民・市・議会	未就学児、児童・制度において協同している機会、場の確認	市への提言	必要・不要
		何を	小さい時から障がい者、健常者がともに過ごす時間を増やす。		議会の行動	
17	地域の中で暮らすために、障がいを隠さないなど家族の意識改革	誰が	市民・市・議会	障がいを隠そうとされる方がおられるのかどうかを聞き取り確認（田畑委員） ※大人、子ども等世代に限らず	市への提言	必要・不要
		何を	「障がいは個性」の意識づけをする		議会の行動	
18	地域で集える集会所の整備や通訳者の活用	誰が	市民・市・議会	手話通訳者・要約筆記者の数、増やすための施策の有無（講習会など）	市への提言	必要・不要
		何を	集会所の段差、通訳者の活用の周知		議会の行動	
19	支援する障がいへの専門性の高いスタッフの育成	誰が	市民・市・議会・事業所	各事業所の研修の連携・共同開催の状況	市への提言	必要・不要
		何を	事業所スタッフの専門性を高める研修		議会の行動	
20	車椅子で通える道路の整備	誰が	市民・市・議会	段差解消の状況、どの障害にも通用する安全な別の方法の有無。 他地域の状況	市への提言	必要・不要
		何を	段差解消、点字ブロックによる誘導から杖と道路にセンサー等別の手段を用いた視覚補助		議会の行動	他の方法があるなら、所管委員会への申し送り

21	周知の徹底（障がいについて）	誰が	市民・市・議会	障がいに関する講演会等の開催状況	市への提言	必要・不要
		何を	障がいについて人権講演会等を取り上げる。		議会の行動	
22	市民と行政と障がい者が一体となって「してほしい」から「一緒につくり上げる」という意識改革を進める。	誰が	市民・市・議会	—	市への提言	必要・不要
		何を	バリアフリーを共に考え、共につくりあげること		議会の行動	
23	小学校から障がい者教育を進める。	誰が	市民・市・議会	障がいについての学習機会の有無	市への提言	必要・不要
		何を	一緒に過ごしたり、授業等でも障がいについて理解を深める。		議会の行動	所管委員会（市民文教へ申し送り）
24	聴覚障がい者のために、災害時に役立つ電光掲示板を作成、設置	誰が	市民・市・議会	・聴覚障がい者のための電光掲示板等、他市の現状 ・国交省等が表示しているものを想定しているのかを参加者に確認（石束委員）	市への提言	必要・不要
		何を	電光掲示板を設置		議会の行動	
25	昨年、手話を言語として普及する条例が議決され前進したが、より充実させてほしい。（119スマホを取り入れたり、通訳者の手当や人数を増やす。など）	誰が	市民・市・議会	市の条例を確認（事務局）。 119スマホがどんなものか（京都市のNET119のこと？）の確認（石束委員）	市への提言	必要・不要
		何を	119スマホの導入、通訳者の手当 up、仕事の場の機会の提供		議会の行動	
26	子供たちへの福祉学習、学校との連携強化	誰が	市民・市・議会	福祉学習の有無・内容の確認 高校への調査	市への提言	必要・不要
		何を	小中高等で福祉学習の理解を深める取り組みの強化（不足しているという認識のもと）		議会の行動	
27	条例に関するパンフレットの作成	誰が	市民・市・議会	制度・支援のパンフレットの有無、ある場合、内容の確認	市への提言	必要・不要
		何を	どのような制度・支援があるか分かるパンフレットの作成		議会の行動	
28	介護職員の待遇改善	誰が	市民・市・議会・事業所	待遇の現状 現場の声を聞く（田村委員？）	市への提言	必要・不要
		何を	待遇UP（賃金UP・労働条件の改善）		議会の行動	
29	介護タクシーの利用条件の見直し	誰が	市民・市・議会	交通費支援策の内容 （NO.13の確認事項に含む）	市への提言	必要・不要
		何を	交通費支援		議会の行動	
30	支援員の育成や情報共有の強化	誰が	市民・市・議会	—	市への提言	必要・不要
		何を	各団体で連携していける場を強化		議会の行動	
31	支援学校と市や福祉施設、医療の連携を図り、障がい者の自立支援を進めてはどうか。	誰が	市民・市・議会	各施設の各課題を共有できる場の提供の有無、その旗振り役の確認	市への提言	必要・不要
		何を	障がい者を見守る関係機関が連携できる場の提供		議会の行動	